

「新設講座設置」について

塾長 上谷恭範

一、ドリーム・スクールについて

昨年冬休みの講習に新設したドリームスクールについては、すでに塾報1号にて掲載しました。目的は

一、基礎学力を徹底して身につける

二、学校の成績はトップ・テン、つまり、10位内のトップグループに入ること、

この2点です。

二、新設「開成中学を志す方」講座

なぜ開成中学のみの講座か。それは、開成中学が日本で超難関校であり、かつ東京大学入学者の一番多い学校だからです。そのねらいは、小学生へチャレンジ精神を身につけ、乗り越えられない試験はないという将来への人間力を植え付けたいのです。

では、当修明塾で可能か。可能かどうかは唯一、開成中学入試問題に対応できる教師がいるか、にかかっています。修明塾では、過去8名の合格者を輩出し、その教師陣が健在です。

春休みの講座では、先ず算数の過去問の中で最難問のねらいと解きほぐし方を教授いたしました。教授は新進気鋭の東京大学工学部(22年卒業)の寺川豊先生が指導します。新学期から夏休み前まで算数のみの過去問の傾向と対策、夏休み期間から冬休み前まで随時、国語・理科・社会の対策にかかります。

三、新設「東京大学を志す中学生・高校生のための記述式論文指導」講座

なぜ、東京大学を目指す中学生、高校生の講座なのか。それは、日本一の大学だからです。なぜ中学生からなのか。論文の素養を育成するには可塑性に富んだ若い頭脳を鍛えていくことが必要だからです。東京大学を卒業し、学者・研究者・官僚・法曹家・経営者・企業家・政治家等々、つまりは政財界のどこに属しようとも己の研究を、自分の主張を、どう発信していくかについては「書く力」がなければ日本のみならず、ハーバード大学卒業生等の世界の人々と競い合うことはできません。教授は、京都大学博士課程(21年修了)の上谷修一郎先生が担当します。

開成算数の出題解説

寺川 豊

開成算数の概要についてまず簡単に紹介しますと、

試験時間：60分、解答方式：記述式、大問：概ね4題構成となっています。

時間については、難問・奇問もない上、問題数も少なく、要求されている計算量もそれほど多くないので、記述式の訓練を積んでいけば、時間が足りなくなることはないでしょう。

出題内容としては近年構成・難易度ともに安定的に出題されています。近年の問題構成は主に次の4種類から出題されています。

- ① 図形問題 (平面図形・立体図形)
 - ② 比・連立方程式の取扱 (不定方程式・不等式含む)
 - ③ 規則性 (数列・数表/周期算/場合の数/数の性質/点の移動など)
 - ④ 数の性質
- これら4つのものが単一・複合的に出題されています。

(対策)

① 図形問題

平面図形・立体図形ともに各単元の基本的な考え方を理解していれば、解けるような問題ばかりですので、難問奇問に手を触れず、日々の演習を丁寧に行い、分からない問題を残さないようにしましょう。ただし、範囲は意図的に多面から出題されているようですので、特に立体図形に関しては好き嫌いをせず、すべての単元の問題について解き方の整理ができていくことが望ましいです。

② 比・連立方程式の取り扱い

比・連立方程式の取り扱いという抽象度の高い表現をしていますが、基本的に未知数を2、3含む条件式の処理を問う問題が1題出題されます。

このくくりでは何も限定されていないという批判もあるかもしれませんが、問題の出題傾向を見る限り、“算数的な力”というより“数学的な力”が試されているように感じます。現に数学で解くよりも算数で解く方が早い問題があります。

ただし誤解を招かないようにつけ加えておきますが、算数、つまり個々の特殊算に対する理解は不可欠です。基本的な理解がなければ数学的な式を立てることもできません。文章題がただの連立方程式と見なされるまでに力をつけておくことが理想です。

③ 規則性を見つける問題

上位校共通の傾向ですが、問題を解いていく上で規則性を見つけて解く問題が1題出題されます。この問題では小問数が多く設定される傾向にあり、段階的に丁寧な誘導をかけてくれ、前の設問で問われたことは必ず次の設問で利用できるように配慮されています。最後の小問の難易度が突出していることがあり、算数はこの問題で点差が付く印象です。ただし、難しい問題に限って、解答が複数個あるように設定されることが多く、正解1つごとに点数が与えられ、点数が取りやすくなっているため、諦めずに取り組む価値はあります。

④ 数の性質

数の性質は好んで出題されています。元々数の性質という単元ほど曖昧な単元はありませんが、数の性質単独の問題と比べると、③の規則性の問題として、②の式の処理の仕方と問題としてなど、複合的に出題されています。

開成第一志望はゆずれないという生徒さんは是非来てください。算数が得意・不得意に関わらず意欲がある生徒さんを募集しています。

東大・記述講座設置について

上谷 修一郎

本講座は東大への進学を目標とする中高生を対象とした記述式問題への対策を目的としています。その場合、早い時期から東大の過去問の傾向と対策を行うものと思われるかもしれませんが、受験対策を考えるのであればどんな問題が出されているのかを分析し、そのために必要な知識やテクニックを研究することは確かに必要なことでしょう。

しかしながら、受験まで後数カ月というならばともかく、まだ何年も先のことであるならば過去問を中心とする入試問題対策はかえって目先の点数アップの弥縫策となり、本当の意味での学力向上にはつながりません。後期試験の論文問題はいうまでもないでしょうが、前期試験の英数国理社いずれの問題においても記述力が要求されるのが東大の試験問題の特徴です。知識の量ではなく、基礎的な知識を表現する力が東大において求められているのです。

従って、過去問題対策にとらわれるのではなく、例えば自分の興味のある新聞の社説や岩波新書を読んで、要約し、自分の意見をまとめるなどの訓練を通して、本当の意味での自分の思考力、記述力を向上させていくことが遠回りのようでも、最も合格への近道となるのではないのでしょうか。

本講座では、受講者の現段階の学力に応じつつ、長期的な視野から合格につながる記述力、論述力の習得を目指して、敢えて試験問題にとらわれない対策を試みることにしていきたいと思えます。受験の合格は出発点であってそれ自身が目標ではないはずで、みなさんが合格後の大学生活においても、又社会に出た後においても立派に自分の意見を表現していくことができるようになることまで本講座を通じてお約束致します。

「開成中学を志す方」講座

「東京大学を志す中学生・高校生のための記述式論文指導」講座

につきましては、

修明学園本部 ☎03-3862-9218

へお問い合わせください。

皆様の受講をお待ちしております。





上谷 修一郎

3月3日の土曜日に修明学園45周年記念を兼ねて第14回「親と子と教師による学びのサロン・ソプラノ歌手湯浅桃子と日本フィルによる弦楽四重奏」が中村学園のフェニックスホールにて14時から行われました。

当日出席者は197名とたくさんの方に御来席いただきました。最初に弊社代表取締役社長上谷恭範より45年間に渡り弊社を支えていただいた皆様への御礼のご挨拶を行い、その後、ご来賓を代表して島津一満柳町学生会長から弊社と地域の皆様との関わり合いについてお言葉をいただきました。その後いよいよコンサートの始まりです。

本コンサートでは「音楽の玉手箱」と題して、特に第一部では皆様に馴染みのある曲を中心に少しずつをお届けすることに致しました。まずは日本フィルハーモニーの皆様、ヴァイオリンの三好明子さん、遠藤直子さん、ヴィオラの山下進三さん、チェロの大石修さんによる弦楽四重奏です。山下さんによる曲の解説と共にモーツアルトのアイネ・クライネ・ナハトムジークから始まり、ハイドンの皇帝、ヴィヴァルディの四季、エルガーの愛の挨拶と有名な曲の有名な部分が演奏されます。その後、ドヴォルザークのユーモレスクに日本民謡のおてもやんを挟んでクライスラーの愛の喜びと続きました。会場の皆様の反応も上々で楽しんでいただいているようです。ここで弦楽四重奏は一旦終了し、次はソプラノの湯浅桃子さんとピアノの矢野里奈さんによるオペラのアリアと歌曲です。最初にウェバーのオペラ座の怪人のシンク・オブ・ミーが歌われます。湯浅さんの美しい歌声と共に会場の雰囲気も一変します。山田耕作のからたちの花、中田喜直のさくら横丁と日本の歌が続く、サティのあなたが欲しいの後オペラのアリアになります。プッチーニの私のお父さんを終えてモーツアルトの魔笛の夜の女王のアリアの圧倒的な迫力で会場の熱狂も最高潮を迎えました。鳴り止まない拍手の中で、第一部が終わり、二十分の休憩の後第二部となります。

ご協賛いただいた方々、東京セキスイハイム株式会社の吉沢真様と日本武蔵野のフィルの鎌内啓子様から最初にご挨拶をいただき、その後本コンサートのメインとなるモーツアルトの弦楽四重奏「春」が演奏されます。春の原風景が思い浮かべられるような日本フィルの方々のアンサンブルによって曲が紡ぎだされていきます。特に第一楽章と第四楽章のハーモニーは見事という他ありません。あつという間に全四楽章終了し、アンコールとなります。これまでの弦に歌とピアノが加わって当日の演奏者全員と会場の皆様とで歌を歌います。最初に滝廉太郎の花（春のうららの隅田川）を、おしまいに修明学園の塾歌を歌うことで会場が一体となってコンサートが終了します。学園の生徒から演奏者の方々に花束贈呈がなされ、新井嘉昭弁護士による閉会のお言葉で学びのサロンの全プログラムが完了しました。打ち上げは清澄白河駅徒歩1分の「やきとり道場」で演奏者の方々もご参加いただき40名程でわいわいがやがやと楽しく行いました。

御来席いただいた方々からは後日とても楽しかったというお褒めのお言葉もいただいております。コンサート形式の本サロンは私達を支えてくださった皆様へのせめてもの感謝の意を表すために行ったもので、こんなに嬉しい言葉はありません。今後も修明学園を何卒宜しくお願い致します。皆様本当にありがとうございます。

◆2012年度四谷大塚「入試報告会」参加レポート

柴田 圭

修明塾は、四谷大塚Y.T首都圏提携塾として、四谷大塚が発行する「予習シリーズ」をテキストに使用し、中学受験指導を行っております。

今回は、3月7日に開催された四谷大塚の中学受験報告会（会場：明治大学アカデミーホール）の出席を通して、今年度の中学入試結果と現況について、配布された分析資料集を中心に概要を述べたいと思います。

2012年度首都圏中学入試の特徴（総論）

近年定着しつつある「学校をより厳選する」受験に加え、「3つのA(AAA)」という新たな傾向が顕著になったことが挙げられます。つまり、

- ①安全（＝学校選択が安全志向＝チャレンジ回避）
- ②安心（＝通学の利便性を重視し、受験日程的にも無理がない）
- ③安定（＝大学進学実績が安定している学校選択）

のキーワードが揃っている学校に受験が集中しているというのです。背景として、震災発生を契機に遠距離通学への不安感や先行き不透明な経済情勢が受験校の選択に大きく影響しているようです。その結果、大半の学校で例年よりも受験生の地元占有率が高まったとの事でした。

東京の中学入試編

2月1日からスタートする東京の入試は、この日が最も第一志望率が高まります。1月の埼玉・千葉の入試を受けない生徒ほど、この日に合格有望校（模試合格判定目安80%以上）を受験し、後の日程にチャレンジ校を受験する併願パターンを工夫している傾向が見られます。通学しやすい学校を受験日を追うことに高い難度に向かって受験する生徒が多かったようです。定着した午後入試を最大限活用し、選択の幅を広げた上で、結果や状況を見ながら臨機応変に対応する受験スタイルが多いと思います。合格率の高い2月1日をどのように使うかを明確にして、入試に立ち向かう必要があります。修明塾がこのたび新設した「開成中講座」に関連して述べますと、今年度の開成中は、4科とも得点のバランスが取れた生徒が合格を勝ち取ったようです。ただ不変であるのは、算数の思考力・解答力の強化であって、そうしたニーズに 대응するのは修明塾の講座しかないと思います。

新年度の受験生とご父母に向けて

これからの中学入試は、ご父母の学校を見る目が一層厳しくなり、学校へ求める期待や要求も具体性を伴うでしょう。それにきちんと応える学校だけが生き残るはずですが、それだけ現在の私学等を取り巻く環境が厳しく、学校改革へのリスクを生じさせていることは明らかです。最後に「なぜ、中学受験をするのか」をもう一度問い直してみてください。「将来への夢の実現」や「自立して学習する姿勢」を獲得することではないでしょうか。それまでの道のりは決して平坦ではありません。「学びの環境」を見つけるために、多くの学校の入試説明会やオープンキャンパス等へ積極的に足を運んでください。受験勉強やそのサポートが苦しい時こそ、憧れの学校の制服を着て入学式に親子で向かう姿を想像してみてください。きっとモチベーションも高まることでしょう。

修明塾は、頑張る受験生を応援し、ご父母の期待をしっかりと受け止めて、第一志望校合格への受験指導をして参ります。

高校受験合格者の声

これから修明塾に通う生徒に
毎回の授業で行う単語テスト等の小テストをしっかりと受けて下さい。面倒だと感じるかもしれませんが、受験の時に非常に役立ちます。
事前にテスト勉強をして置き、合格点を確実に取るようにしましょう。

保護者の声
本当にありがとうございました。
我が家は兄2人もお世話になって3人とも志望校に合格しました。これも先生方のおかげです。1人1人の弱い所、勉強の仕方、細かく指導して下さいのおかげです。

修明塾の教師への感想
わからない問題は理解できるようになるまで、時間外に及んでも、熱心にご丁寧にご指導頂きありがとうございます。
特に英国数の3教科はしっかりと実力をつける事が出来たとおもっております。

合格おめでとう！

4月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

3月26日～4月4日修明塾「春期講習」I期・II期
4月5日（木）塾内前期統一テスト
4月6日（金）修明塾4月通常授業スタート

◎幼児体験レッスンのご案内 ※事前申込予約制
4月22日（日）浅草橋教室 TEL 0120-77-9218
11時～12時：3歳児・新年少 定員3組
13時～14時：新年中・新年長 定員4組